

平成29年度 第2回 東海村スポーツ推進計画策定委員会会議録

1	開催日時	平成29年6月26日(月) 18時06分から19時50分まで
2	場所	東海村役場 2階 205会議室
3	出席者 (敬称略)	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>委員長：松坂晃，副委員長：杉山章子</p> <p>大関達也，吉沼玲子，野沢恵子，石丸美代子，田畑由紀子，小泉親彦，山田直広，川崎明彦，松坂晃，橋本礼子，久保田泰世，鈴木範英，植田裕美，塚原美光</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>大内教育次長，千葉生涯学習課長，平根生涯学習課長補佐，物井生涯学習課係長，大森生涯学習課主事，東海村文化・スポーツ振興財団平根係長，丸山介護福祉課長，澤畑健康増進課長</p>
4	欠席者 (敬称略)	—
5	公開又は非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	議題	<p>(1) 久慈川河川敷運動場整備計画の方針(素案)について</p> <p>① ニュースポーツ広場の整備について</p> <p>② 多目的広場(ソフトボール場)の再整備について</p>
8	配布資料 【資料No.】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久慈川河川敷運動場の整備について(素案)【資料No.1】</li> <li>・ニュースポーツ広場の整備について/図面【資料No.2】</li> <li>・多目的広場(ソフトボール場)の再整備について/図面【資料No.3】</li> <li>・東海地区環境整備について【資料No.4】</li> <li>・アンケート及び利用状況調査の実施について【資料No.5】</li> <li>・エンジョイサマースクールの実施について【資料No.6】</li> <li>・とうかいホッケーフェスティバルの実施について【資料No.7】</li> </ul>

9 発 言 内 容

■委員長あいさつ

現在、子どもの体力低下や生活習慣病が問題になっている。スポーツ推進計画を策定するにあたり、無関心層をいかに引き込めるか、そのためにいかに無関心層の意見を拾うかが重要である。スポーツ推進計画の策定は、スポーツの推進がゴールではなく、その先のまちづくりにどのように繋げるかが大事。村のますますの発展を考えるとという視点も含めて、スポーツ推進計画を策定していきたい。

■議事進行：委員長

事務局) (1) 久慈川河川敷運動場整備計画の方針(素案) についての説明【資料No.1・2・3・4】

委員) 多目的広場の整備案のエリアAが道路にかかっているように見えるが、これは公式なサイズなのか。

事務局) 図面は両翼70m程度で引いている。現在国内の規格は明確ではないが、国内であれば公式な試合はできると考えている。

委員) 資料の整備案に「少年野球のニーズを調査する」とあるが、この場所を普段使っているのは少年ではなく一般のチームではないか。使用している団体からのニーズがあり、そのニーズに応えた整備の方向なのか。折角公式サイズに整備するのであれば、大きな大会の誘致などは考えているのか。

事務局) 第一義的には東海村民に使ってもらいたいですが、近郊大会の開催等については今後検討していく。

委員) 国際規格を準用するのは競技場であり、一定の規格を満たしていれば、ほとんどの国内大会を誘致できる。ニュースポーツ広場は多岐に渡る、流動的な運用を考えた方が良い。

委員) エリアAは川側の遊歩道を曲げれば規格が収まる。

事務局) 川側の遊歩道整備は国の計画で、以前交渉したが動かすことはできないとの回答であった。

委員) ソフトボール場は全体的に下流側にレイアウトを動

かすとエリア内に収まるのではないか。エリアCは子どもたちを優先して、野球とソフトボールがどちらも使用できるように整備した方が良い。現在のグラウンドの溝を埋めた状態で設計を考えられないか。水はけが良ければ問題ないと思うので排水計画（溝の位置）を再考し、グラウンドの配置を調整してもよい。

委員）現在の階段護岸の設置予定位置だとエリアCをメインとして応援することになるので、それぞれのコートに階段護岸があれば良いと思う。

事務局）国土交通省に階段護岸を延長できないかこちらも話をしたが、堤防への加重による周辺への影響を考慮しているため、階段護岸の延長は難しい。

委員）イベント等でニュースポーツ広場を自由に使うとなると備品の貸出しなどの管理が大変なので、ある程度限定する必要があるのではないか。

事務局）管理は重要な話である。緊急時に撤去できる倉庫を考えても鍵は総合体育館に取りにってもらうことになる。無料で使用できる代わりに、広場を使う際は、自分で鍵を取りに行くといった事に協力してもらうのが基本になるかと思う。

委員）監視カメラなどをつけられないか。サッカー場では勝手に除草剤をまかれてしまったと聞いている。

委員）最初は自由広場として運用を開始して、課題が見えてきてから管理について考えたほうが良い。最近できた舟石川近隣公園は良い使い方がされている。

委員）管理にあたっては、指定管理の導入も検討すべき。利用者自らが使う場所なので、村と一緒に管理していこうという、利用者が使っている場所を大事にする意識を持つのは大事だと思う。度を越すと「自分たちが整備しているから使わせない」などになってしまうおそれもあるが。

委員）自分たちでなんとかするという考えは当然あり、使

用前に芝を一日かけて刈ったりしていた。自分たちでもできることはやりながら維持していくことが大事であろう。

委員) 企業など少しお金を出してくれるところを探すのも大事かと思う。新潟県の魚沼市は総合型スポーツクラブが土木業者と共に指定管理を受けておりうまく回っている。限られた予算の中で使い勝手の良い施設をどのように整備していくのかを考えなくてはならない。

委員) 利用者が増えていけば、自分たちで綺麗にしたいという話もでてくると思う。いかに多くの住民の方に利用してもらえる環境を整えるかがポイントだと思う。

委員) どこにウエイトを置くのかは難しい。自由と管理はたちごっこになってしまう。

事務局) ハードの話から始まっているが、ソフトの面でいかに活用していけるかも大事である。

委員) グラウンドゴルフ場として利用している役場の隣の芝生広場は、高齢者クラブで草を刈っている。スポーツはそれくらいの気持ちで行わなければいけない。子どもも「やってもらえる」と思ってしまうため、できることは自分たちで行うようにしたほうが良い。

いつでも、親子や高齢者が、そこに行けば何かできるという場所を一箇所だけでも作ってほしい。小さなスペースでも、高齢者や身体障害者のことも忘れないでもらいたい。

事務局) 整備案のクレー面と天然芝面はどのような整備が望ましいか。

委員) エリアを分けるのは最初に行ったほうが良いかもしれない。このエリアは「こうする」と分けて、運用でやってみてのルール作りも必要ではないか。

委員) 常陸大宮市の道の駅には芝の広場で自由に遊ぶ用具がある。公園の下には川があって、釣りなどもできる。

事務局) 久慈川は親水公園のイメージもあるが、川に触れ合うことも大事かと思う。自由広場であればいつでもどうぞというイメージも大事である。

委員) 何故「ニュースポーツ広場」という名前なのか。  
事務局) かわまちづくり計画上の名称が「ニュースポーツ広場」ただであり、名称にこだわりはない。

委員) ニュースポーツ広場には日陰がないので夏場は暑さ対策が必要。また、体力測定をするイメージで学校のようなトラックをつくり、運動広場としてのイメージをつけても良い。

委員) スポーツをやらない子供たちに、いかに体力をつけてもらうのかも重要である。

委員) 小さい頃から集う場所があれば良い。自由に遊べる安全なエリアがあり、いろいろな人が集まると自然と輪ができる。

委員) 後はトイレがあるかなどのハード面の話になってしまう。亀下トイレは綺麗で使いやすい。ここが故障したときは民間のスーパーを案内している。ソフトボール場脇の簡易トイレは衛生的に嫌がられる。那珂川河川敷グラウンドの簡易トイレも衛生的上の問題から敬遠されている。

委員) 熱中症対策や気軽に利用できる方法は何か、それに対してできることは何かを考える。ソフトボールや軟式野球の大会等があれば、何らかの協力ができるかと思う。ニュースポーツ広場は、芝生の上で親子が自由に遊んで、遊びの輪が広がるというイメージである。利便性が良いのはもちろんだが、村のみんなが誇れる施設になるとよい。

委員) 「きょうよう」と「きょういく」という言葉がある。「今日用がある」、「今日行くところがある」という意味である。元気なお年寄りになるには、元気なお年寄りをたくさん見ることであり、輪に入ることである。子どもが小さな頃は笠松運動公園に連れて行ったが、自然と触れ合いながら安全で楽しめる場所を作ってもらいたいと思っている。今日議論した場所は、機会があれば直接現場に行ってみたい。

委員) 小さい頃からキャンプなどをしていないと大人にな

	<p>って分からない。小さい子の遊びを親がサポートできる場になってほしい。環境整備を最初にしっかりできれば利用者は口コミで増えていくと思う。環境が良ければ、利用方法は利用者が自ら考えると思うため、競技ごとに利用形態を括らないほうが良い。</p> <p>委員) 最近スケボーなども流行っており、高学年の子どもにも怒られずに自由に遊べる場所を提供してあげられれば良いと思う。</p> <p>委員) ハード面だけではなく、ソフト面も大事である。</p> <p>■そのほか</p> <p>事務局) 配布資料の説明について【資料No.5・6・7】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月29日(土)は阿漕ヶ浦運動公園ホッケー場でとうかいホッケーフェスティバル2017を開催する。</li> <li>・ 8月5日(土)は吉村真晴選手を招いてイベントを行う予定である。</li> </ul>
10 今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の会議(第3回)はアンケートの結果も踏まえ、計画策定の議論を行いたい。</li> <li>・ 次回開催は8月のお盆過ぎを予定している。</li> </ul>